

地震火災を防ぐ15のポイント

【事前の対策】

- 1 住まいの耐震性を確保する。
- 2 家具等の転防止対策（固定）を行う。
- 3 感震ブレーカーを設置する。
- 4 ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。
- 5 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する。
- 6 住宅用火災警報器（連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器）を設置する。
- 7 地震直後の行動（8～10）について平時から玄関等に表示し、避難時に確認できるようにする。

【地震直後の行動】

- 8 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
- 9 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する。
- 10 避難するときはブレーカーを落とす。

【地震からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）】

- 11 ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する。
- 12 再通电後は、しばらく電化製品に異常（煙、におい）がないか注意を払う。

【その他日頃からの対策】

- 13 自分の地域での地震火災による影響を把握する。
- 14 消防団や自主防災組織等へ参加する。
- 15 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図る。